

左手。これも五指の指頭を上にしし掌を前向けた右手。この両手を掌でぴったりつけ合せてから、互の首を軸にして、ぴったりつけたまま扇を開くように右手を左へ、左手を右へ傾ける。次に右手で扇を持つ姿態で煽ぐ身振り。

大袈裟 五指の指頭を右にしし掌を下に向けた左手の首の下を、掌を前に向け五指の指頭を集め合わせた手をくぐらせて前にさし出すと同時に五指を大きくひろげて開く。

右手を下から出して大きくひろげて見せるのは――大きく見せる――即ち「大袈裟にする」のである。

狼 五指の指頭を前方にさし掌を下に向けた右手の手甲（手首寄り）を口もとにつけると、そのまま五指を斜め上に向け、ひらひらと動かす。飢えた狼のあえぐ舌を表わす。

大勢 多い 掌を内側に五指の指頭を上

にした両手をそれぞれ左右胸の前にして、五指を前後にいそがしく動かしながら両手を引き寄せる。両手の五指によって数を意味し、せわしげに五指を動かして引き寄せて、応接にいとまなしと云うほどの「多敷」を表わしたものと思えばよい。「多い」「沢山」の手まねともなる。

皇子（王子） 左手の掌の上に指頭を上にした中指（男性）を載せ上へさし上げる（王、天皇と同じ要領）



応諾 解った

（「会得」――引受ける）

横着 五指の指頭を斜め上にした右手の手甲を反対側の左の

頬につけ、斜め上下にこする。

オートバイ ハンドルを持つ両手の姿勢。
両腕をこまかく振動させて、エンジンの響きを暗示する。

王妃 指頭を上にした小指の（女性）右手を左手掌の上に載せ、眼の上にしたさし上げる。「女王」、「皇后」ともなる。

往復 指頭を上にした。人差指の手を、前に出し（往）て、次に引き返えさせる（復）

横暴 「暴れる」と同じ手まね。

丘 掌を下に向け五指の指頭を左にした右手で、なだらかな丘陵の線を空間に描く。

おかしい 掌を内側にした右手の指頭を反対側の左頬につけ口を被いかくすようにして笑いの表情

お経 左片手で拝み右手人差指で木魚或は鉦を叩つく真似をして、次に両手で「書物」を表わしてから両手の掌を下に上にと反転させながら左右に離して行く。これはお経の本

が大抵折本（長く紙を一枚に綴り合わせ折り畳んだ本）を表わしたものを。

起きる 右腕（或は拳）を枕として、頭をつけ寝る真似をしてから、頭をもたげてもとにもどす。

臆病 腹が小さい（小心）一憂う。腹が小さいは、人差指と親指で半円形をつくった両手に向い合わせて、腹の上につけ、そのまま、互に接近させて、最後に指を重ね合わせて小さい輪につくる。腹の中（心）が小さく縮まったと表現したもの。次に、「憂う」「案ずる」の手まねをする。

贈物 胸の前で水引を結ぶ真似をして両手に物を捧げる風にして前にさし出す。

怠る なまける。人差指と中指の二指で、鼻の下から斜め下に頬を撫で降す。鼻から二本棒を出した怠け者のことか

行い 拳にした両手の腕の肘を左右に張り